

相婦連

つなげよう！
地域活動を通して次世代へ



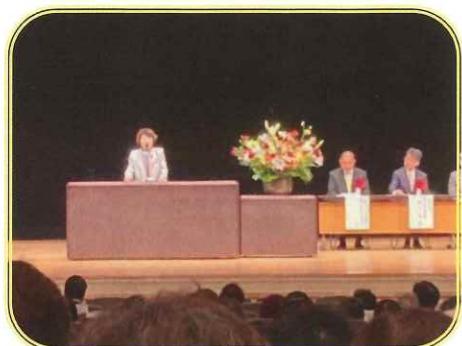
平成5年度は「全国大会」開催に向け皆様の多大なご協力をいただきましたこと、心より感謝申し上げます。相婦連からはスタッフ（全体会・フィールドワーク）、参加者への記念品のアームバー作成に、松葉町婦人会手芸クラブのご協力をいただきました。

神奈川県では56年ぶりの開催で一つ一つ手探りで実行委員会が積み上げ、思つた以上に成功裏に閉会できましたことは、偏に日頃の婦人会活動の結果で、婦人会力だと改めて感じました。

全国から参加された方に「良い大会」だったと言つていただき安心しました。特に記念講演の金澤泰子さんは子育ての重要性を学び、母としての凛とした姿勢に深い共感を得ました。翔子さんが揮毫される時、会場はシーンと水を打ったような静けさでした。翔子さんの「翔子の文字には不思議な力がある……」とおっしゃりました。

第65号
発行日 令和6年3月31日
発行地 相模原市
地域婦人団体連絡協議会
発行責任者 石川 壽々子
編集 広報委員会

*持続可能な環境問題
解決を考えよう
*共に考え実践する
地域防災
*子どもの居場所づくり
について考えよう



全国女性団体研究大会を開催！

コロナ禍を乗り越え



令和5年度 全国女性団体研修大会 in 神奈川

“笑顔あふれる人生100歳時代”

「健康で豊かな暮らしは地域文化を担う私たちの手で」

日時 令和5年 11月 21日(火) 会場 パシフィコ横浜会議センター

令和5年 11月 22日(水) 神奈川県民ホール

全国から約600名(相婦連からスタッフ12名・全体会27名)が参集し、秋の好天にも恵まれる中、本番を迎えました。

第1日目 分科会

①消費||みんなで始めるSDGs—エシカル消費を学ぼう

②健康||人生100年時代に向けて、神奈川が推奨する未病と3033運動について

③環境||持続可能な未来をつくる(気候変動時代の暮らしと地域)

④フィールドワーク||横浜開港の歴史(赤レンガ倉庫・横浜開港資料館・神奈川県立歴史博物館・横浜ハンマーハンド)

第2日目 全大会
記念講演・閉会行事

全国女性団体連絡協議会、
櫻井よう子会長の挨拶があ
り、発足71年の婦人会の歴
史、地域で果たす役割などに
触れ、今後の女性会の在り方
について力説されました。

また内閣府、文科省、厚労省・県知事・川崎市長(代)
教育長他、「ご来賓祝辞では、
黒岩祐治神奈川県知事より、
金澤翔子さんが県の「とも生き大使(ともに生きる社会
かながわ応援大使)」である
ことの紹介や、歓迎に横浜



フィールドワークを
担当して

にちなんだ歌まで披露され、会場から大拍手を受けていました。
記念講演||金澤泰子 氏
「ダウントン症の娘とともに生きて」
揮毫||金澤翔子 氏
翔子さんの文字には不思議な力がある。苦しい時があっても「生きていれば絶望はない」の言葉にその道程を垣間見た思いがしました。



見学時間で駆け足の様な所もあつたでしょう。それでも皆さんは、ガイドの説明に耳を傾けたり、横浜の街で見つけた建物のことを聴いたりと、熱心な姿勢で、終わりに「楽しかったです」の感想は何よりでした。

見学施設は「赤レンガ倉庫」「横浜開港資料館」「神奈川県立歴史博物館」「横浜ハンマーヘッド」の4施設でした。幕末から昭和初期にかけての資料や、当時の最高の技術が注がれたであろう重厚な建造物には圧倒させられます。ただ横浜ハンマーヘッドは2019年10月にオープンした新しい複合施設。それぞれ30分から40分の

市政功労表彰 おめでとうございます



中牟田好江さん

長年に亘り、松葉町婦人会副会長・会長及び相婦連役員としての活動の功績により、受賞されました。

こんな婦人会の活動は本当に素晴らしい、次世代に継承したいのですが後継者不足で悩んでいます。どこかに救世主はないものか・・・とヘチマたわしの様な脳みそで日々考える私でした・・・

(笑)

ザ★婦人会

～4年ぶりの若葉まつり～



私たち相婦連の模擬店は、ポテト&ソーセージの「スナックセット」の販売と「ヘチマたわし・手作り石けん」の販売で啓発活動を行いました。調理前の身支度ですが、婦人会が他の団体と違うところは三角巾が手作りだと

いうことです！さすが！ベランン主婦の軽やかな手さばきで「スナックセット」が次々と出来上がりました。子ども達についつい多めに入れてしまう方に対して、

ドキッ！喜んでいる子どもに多く入れなくなる気持ちわかるなう』『そこが婦人会の良いところだよね』と思つた出来事でした。

丁度お腹が空いてきた頃、待ちに待った手づくりお昼ご飯の時間がやってきました！五目寿司・煮物・漬物など・・ごちそうさまでした。そして今年2年目のヘチマたわし！「ヘチマたわしはアクリルたわしよりもエコ

なのよ！」と教えていただき早速買って、家で使ってみました。洗剤いらずでベタベタの油汚れや野菜の泥もきれいに簡単に落とせて、何よりも「ヘチマたわし」に汚れが付かない事に驚きました！

「ヘチマたわし」は子どもの頃から知ってはいましたが使ったのは初めてでその機能のすばらしさに感動です。早速この夏に自宅でヘチマを育ててタワシ作りに挑戦しました。

一回目、ロシアに一艘当たり年間40万円払い漁を行っている島民一世より、当時小学4年生の母親の話。貨物船でサハリンへ連れて行かれ、後に函館に帰るもロシアから戻ったことでも、「赤い子」と呼ばれ、同じ日本人でありながら辛い思いをされたことを伺い、船



初日、羅臼国後展望塔から国後島を見た後、元島民の高岡氏の講話。終戦後上陸したロシアは町民の家を荒らし高岡家にも来て仮塙の中を鉄砲でかき回し追い出されよう島を離れたことは一生忘れることはな

いと涙を流されました。羅臼町長の「鉄砲の玉を一つも使わずに平和を取り戻せたら」と話された言葉が心に残りました。

上からの国後島は、近くに

北方領土復帰促進婦人・青年交流集会

令和5年7月15日(土)～17日(月)



見えながら戻れぬ日本の領土が遠く思えた一日でした。

最終日の納沙布岬では、

昆布漁の船がサイレンと共に戻るところに遭遇し、決めら

地区別研修会

松葉町婦人会

健康で心豊かな暮らし
～笑いヨガでいきいきと～

健康体操「笑いヨガは、1995年インド・ムンバイの医師らにより考案・普及され、現在では百ヵ国以上で実践されている健康体操で、誰でも理由なしに笑える健康法です。

始めは体操として笑う。皆で集まって笑うと笑いが伝授し自然と笑えるようになり、酸素がたくさん取り入れられ、健康と活力が実感できる。

身体の部位と動き、声の出し方等、科学的な根拠に基づいた体操の効果について説明がありました。

インストラクター

参加者・会員 19名
日時・令和6年1月22日
場所・松葉町自治会館
講師・「笑いヨガ」
坂本 きよか 氏



さあ椅子から立ち上がって、実践に移りましょう！

大きな口を開け＊身体をのけ反らせながら「アッハハハー」＊手拍子しながら「ホッホッホッ」ざわざわ～坂本インストラクターの元気な掛け声と手拍子に最初はお互いの顔を見合つたりして、ちょっと恥ずかしい気。しかしながらさすが松葉町婦人会の皆さん！順



*パネルシアター
*エプロンシアター
*ペーパーサート
*ピエロ人形など
幼稚園から低学年 16名参加



20年目の おはなしのお楽しみ会 サークル受託事業

歌って・身体を動かして、久し振りに終わった後の爽快感とやる気を感じた研修でした。

今年度の「おはなしのお楽しみ会」は、令和5年12月8日（土）ソレイユさがみのプレイルームにおいて実施しました。

相婦連より
¥40,000
全国女性団体連絡協議会を通じて被災県へ



能登半島地震義援金

ご協力ありがとうございます

相模原市社会福祉協議会を通じて福祉施設へ
雑巾 76枚

編集後記

今年度は全国大会にページを割きました。
原稿をお寄せいただきました皆様、ありがとうございました。